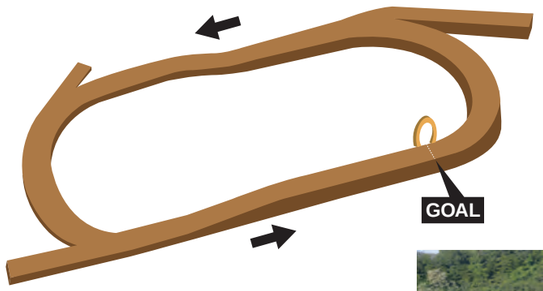
地方競馬で開催されている競走

平地競走

サラブレッドが1周1,000m以上のコースを右回りまたは左回りに走り、**スピードを競う、普段よく目にする競馬**のことを**「平地競走」**と言います。地方競馬が開催されている競馬場は中央競馬が開催されている競馬場に比べ、1周の距離が短く、コーナーの角度が急なコースが多くなっており、その特徴を生かし、コーナー2つの1ターンで行われる短距離戦なども行われています。



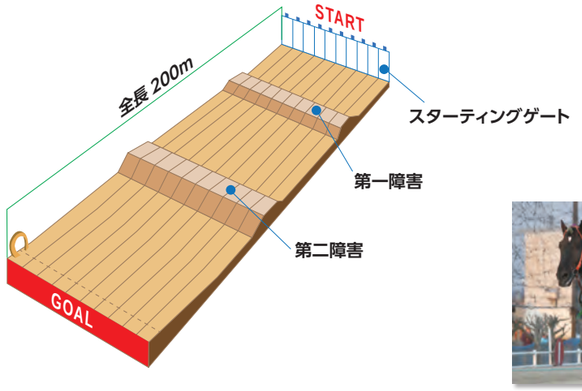
※コース図は左回りの例を示しています。

ばんえい競馬

ばんえい競馬は**世界で唯一、帯広競馬場でのみ開催**されている競馬で、馬体重およそ1トン（サラブレッドの約2倍）もある「ばん馬」と呼ばれる大きな馬が鉄製のソリをひいて、2つの障害（台形状の山）がある直線200mのセパレートコースで、**パワーとスピードを競う競馬**です。

ばんえい競馬は、北海道開拓に活躍した農耕馬の力を試すお祭りが発展したもので、**北海道開拓の歴史にゆかりのある競馬**です。そのため、平地競走では馬の鼻の先端がゴールに達した順位により着順を判定しますが、ばんえい競馬は荷物を運びきる力と速さを競う競技であったことから、ソリの最後端がゴールを通過した順位で着順を判定します。

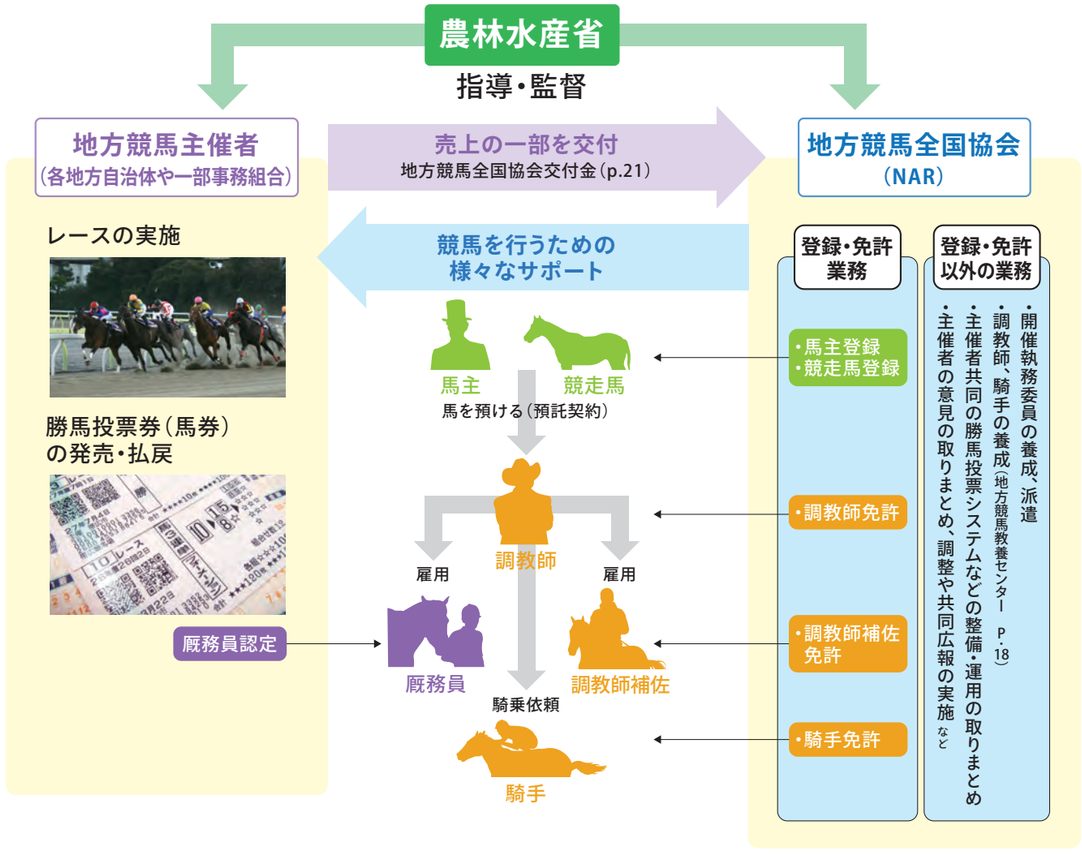
高さ1.6mもある第2障害を1トンもあるばん馬たちが駆け上がる姿は迫力満点です。



地方競馬のしくみ

地方競馬は、**農林水産省の指導監督**のもと、**主催者が競馬を開催**し、**NARが競馬の開催等に関する様々なことをサポート**しています。

NARは各主催者から売上の一部を交付されることで運営されています。



馬　主	競走馬の所有者です。所有する競走馬を調教師に預託することで、レースに出走させることができます。馬主になるには、NARに申請を行い、馬主登録される必要があります。「個人馬主」、「組合馬主」、「法人馬主」の3種類があり、それぞれ登録に必要な条件が異なっています。地方競馬では令和元年10月現在、4,830の馬主が登録されています。
調教師	馬主から競走馬を預かり、最良のコンディションでレースに出走させるための調教・飼養管理を行います。調教手法や飼養管理方法は、調教師によって様々で、競走馬によって個体差もあることから、非常に高度な知識と技術が要求されます。調教師になるためには、NARが行う免許試験に合格し、免許を取得する必要があり、地方競馬には令和元年10月現在、450人の調教師が免許されています。
調教師補佐	一つの厩舎に所属し、調教師の補佐役として、競走馬の調教だけでなく、厩舎運営に関する様々な業務を行います。調教師補佐になるためには、NARが行う免許試験に合格し、免許を取得する必要があり、地方競馬には令和元年10月現在、49人の調教師補佐が免許されています。
騎　手	馬主からの依頼により、レースに出走する競走馬への騎乗に加え、自身が所属する厩舎や他厩舎の競走馬への調教にも騎乗します。騎手は各競馬場に所属し、その競馬場を中心に活動しますが、馬主から依頼があれば全国の地方競馬場で騎乗することも可能です。騎手になるためには、NARが行う免許試験に合格し、免許を取得する必要があり、地方競馬には令和元年10月現在、276人の騎手が免許されています。
厩務員	調教師に雇用され、厩舎に所属する競走馬の日常的な世話や健康管理等を行います。厩務員になるには、公正確保上、主催者等に認定される必要があります。地方競馬では令和元年10月現在、2,097人の厩務員が認定されています。
生　産 牧　場	競走馬の生産を行います。生産地は北海道から九州まで全国に分布しており、中でも北海道の日高地区は国内最大の生産地で、競走馬生産頭数の約8割を占めています。